



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

上場会社 フジテック株式会社
 代表者 代表取締役社長 内山 高一
 (コード番号 6406)
 問合せ先責任者 常務執行役員財務本部長 加藤 義一
 (TEL 072-622-8151)

中期経営計画に関するお知らせ

フジテック・グループは、2016 年度を初年度とする 3 カ年の中期経営計画“**No Limits! Push Forward Together!**”をスタートしましたので、その概要をお知らせします。

1. 中期経営計画（2016 年度～2018 年度）の基本方針

企業価値の持続的成長を実現するために、グローバル市場を活躍の場として、お客さまの信頼に応える安全・安心な商品を提供します。具体的な行動ビジョンは次の 4 つです。

- 地域戦略 : 市場ニーズを捉えたシェアアップ
- 商品・技術戦略 : 商品統一による市場競争力の強化
- オペレーション戦略 : 全社調達革新とグローバル設計ネットワークの構築
- コーポレート戦略 : 経営品質の向上

2. 経営目標

2019 年 3 月期連結ベースで、売上高 2,000 億円、営業利益 160 億円、営業利益率 8%を
目指します。

2015年度(2016/3)実績

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	(率)
日本	65,001	5,199	8.0%
東アジア	84,606	7,500	8.9%
北米	22,360	137	0.6%
南アジア	17,075	1,626	9.5%
欧州	508	△ 43	△8.5%
小計	189,552	14,421	7.6%
調整額	△ 12,423	28	
合計	177,128	14,449	8.2%

平均為替レート 1米ドル121円

2018年度(2019/3)目標

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	(率)
日本	70,000	5,800	8.3%
東アジア	100,000	7,800	7.8%
北米	24,000	700	2.9%
南アジア	20,000	1,900	9.5%
欧州	800	0	0.0%
小計	214,800	16,200	7.5%
調整額	△ 14,800	△ 200	
合計	200,000	16,000	8.0%

平均為替レート 1米ドル110円

3. 地域戦略

東アジアは、世界最大の市場である中国において、販売ネットワークと商品開発力・コスト競争力の強化によるシェアの拡大を図ります。成熟市場である香港、台湾、韓国は、モダニゼーション事業に注力します。また中国からエレベータ・エスカレータの標準機種、韓国からエレベータのオーダー機種、台湾からモダニゼーション機器をグローバルに供給するサプライチェーンを確立します。

北米・欧州は、モダニゼーション事業を中心にアフターマーケットの基盤を強化することで収益の安定化を図ります。

南アジアは、成長が見込まれるインドとアセアン地域に経営資源を投入します。インドにおけるエレベータの生産能力を更に高め、メコン地域を中心としたマーケットにも対応した商品開発力・商品供給力を高め、プレゼンスの向上を図ります。

日本は、新設事業で原価低減により収益力を高めると共に、マーケット・シェアの向上を目指します。アフターマーケットでは、引き続きモダニゼーション事業に注力し、保守契約数の拡大により収益基盤を強化します。

4. 商品・技術戦略

エレベータ・エスカレータ・モダニゼーションの商品それぞれにおいて、日本を含むグローバル生産拠点間で商品を統一し、市場競争力を高めます。また商品ラインアップを支える機器・技術の開発や将来を見据えた研究開発の実践により、価格競争力の向上や新たな商品価値の創造を行ないます。

5. オペレーション戦略

グローバルでの一括購買による全社調達革新を推進し、購買価格と物流コストの低減に取り組めます。またグローバル設計ネットワークを構築し、グループ内の設計リソースを最大限に活用します。併せてエスカレータ事業は、中国と日本の生産拠点の再編を実施します。グローバルモダニゼーション事業の推進にも取り組めます。

6. コーポレート戦略

コーポレートガバナンス基本方針に基づき、高い倫理観、透明性を備えたガバナンス体制を構築すると共に、内部統制システムおよびリスクマネジメントシステムの強化に取り組めます。また最新のIT技術を活用することでグローバル管理体制を強化し、グループのITインフラの整備を進めます。

グローバル人材の育成においては、世界各地の従業員が価値観を共有し、お客さまと社会に貢献できるよう、専門性・多様性を尊重しながら、育成プログラムの充実に取り組めます。

安全と品質への取り組みにおいては、エレベータ・エスカレータの据付、メンテナンス等フィールド技術の更なる向上により安全確保を徹底すると共に、グローバルベースでの商品の品質保証体制の適応を図ります。

以上